

1 地域の概況

(1) 地域の位置付け

本地域は、本市の西部に位置し、東側は田園地帯であり、北側は丘陵地で氷見市と福岡町に接している。

自然豊かな丘陵地と優良農地を有することから、これらの保全と農林業の振興に配慮するとともに、能越自動車道高岡北ICの高速交通を活かして、生産、流通等の都市的土地利用を計画的・段階的に推進する地域である。

(2) 地域の人口・世帯数の推移

本地域の人口は7,865人と本市の5%程度であり、減少傾向にある。

世帯数は2,102世帯と微増している。

地域の概況		
種別	項目	データ
面積	高岡市の面積	15,055.0 ha
	地域の面積	3,590.8 ha
	市に占める地域面積の割合	23.9 %
人口	高岡市の人口	172,184 人
	地域の人口	7,865 人
	市に占める人口の割合	4.6 %
世帯数	高岡市の世帯数	55,302 世帯
	地域の世帯数	2,102 世帯
	市に占める世帯数の割合	3.8 %
	1世帯人員	3.7 人

平成12年国勢調査を参考

(3) 地域の現況と都市構造

① 自然条件

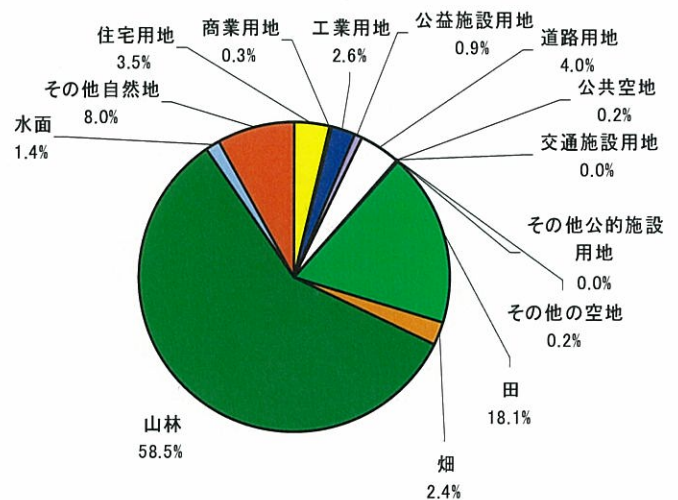
地域の6割近くが山林であり、山林地帯と一級河川小矢部川にはさまれた細長い地域は水田が多くを占めている。

② 土地利用

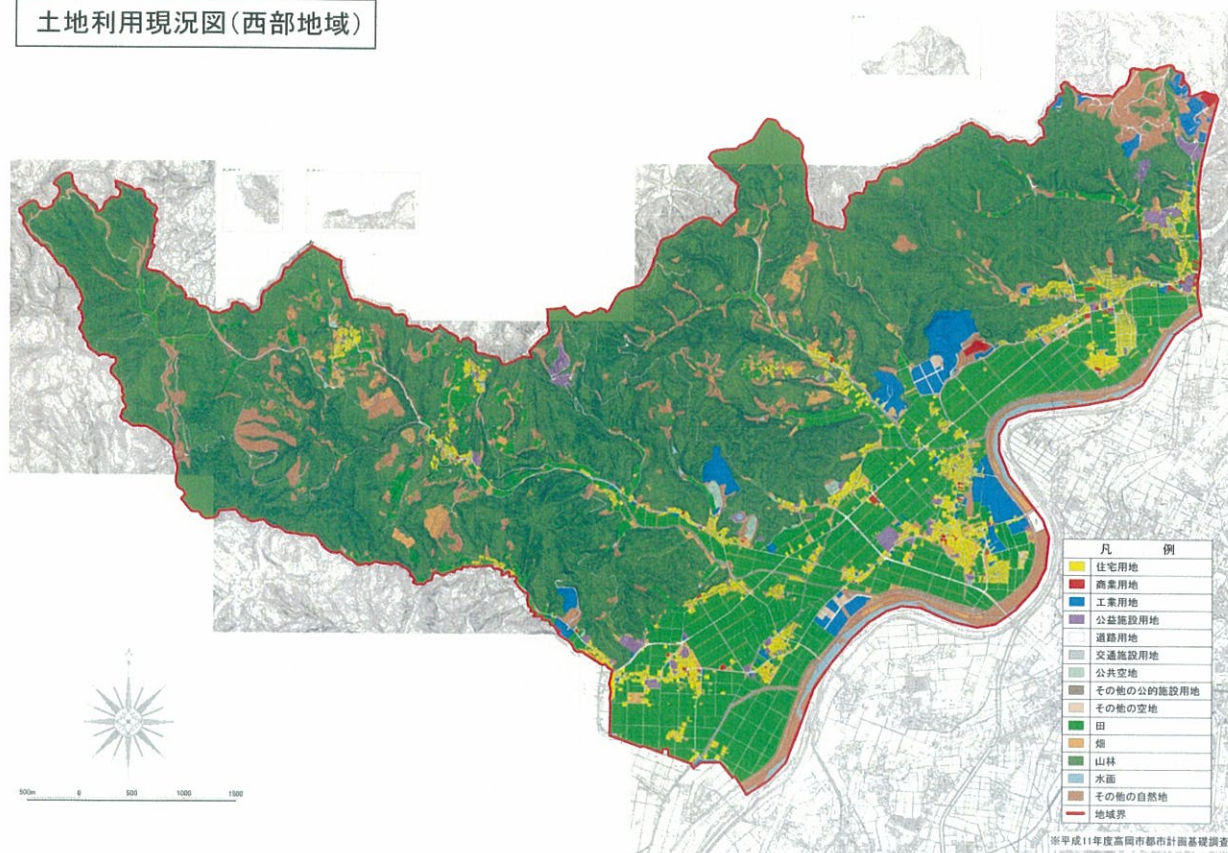
小矢部川と山林に挟まれた平野部の多くを水田として利用しており、その中に住宅地が点在する。

地域の特徴は、豊かな自然環境に恵まれた山林であり、面積は4地域中最も大きく約6割であり、都市的土地利用は1割となっている。

土地利用別面積		
種別	面積(ha)	比率(%)
住宅用地	126.9	3.5%
商業用地	9.2	0.3%
工業用地	94.5	2.6%
公益施設用地	31.8	0.9%
道路用地	142.3	4.0%
交通施設用地	0.0	0.0%
公共空地	8.3	0.2%
その他公的施設用地	0.0	0.0%
その他の空地	6.1	0.2%
田	650.5	18.1%
畑	84.5	2.4%
山林	2,099.1	58.5%
水面	49.7	1.4%
その他自然地	288.0	8.0%
合計	3,590.8	100.0%



土地利用現況図(西部地域)



平成11年度都市計画基礎調査

③ 交通施設等

高規格幹線道路である能越自動車道の高岡北ICへのアクセス道路として(主)小矢部伏木港線が縦断し、山間部を横断して(主)高岡氷見線と(主)高岡羽咋線が通っている。



2 地域づくりの課題

(1) 土地利用

本地域では人口が減少しており、農村集落において、既存集落の維持活性化等の観点から、地区計画制度等の活用により周辺との調和の取れた秩序ある整備が必要となっている。また、集落周辺に広がる農地については、優良農地としての保全が課題となっている。

本地域には、岩坪工業団地や四日市工業団地が存在しており、周辺環境に配慮した機能拡充が必要である。

能越自動車道高岡北 I C 周辺についても、高速交通を活かした有効な土地利用を図るとともに、建設工事に伴い、新たに生じた土地の有効活用が課題である。

(2) 道 路

能越自動車道高岡北 I C と中心市街地を連絡する道路の整備、歩行者や自転車の安全に配慮した道路整備が必要である。

(3) 公共交通

本地域には鉄道がなく、路線バスも運行本数が少ないことから、今後は路線バスなどの公共交通機関の充実が課題である。

(4) 公園緑地

本地域は北側に西山丘陵地が広がり、西山丘陵地から小矢部川までは田園地帯が広がるなど自然環境に恵まれた地域である。これら自然環境を活かした憩いの場の整備や居住環境改善に資する身近な公園緑地の整備が必要である。

(5) 上下水道、河川

本地域の下水道は、未整備区域も多く、今後とも下水道施設の整備・充実を図ることが必要である。

近年、降雨による浸水被害が発生していることから、河川整備等による浸水の解消が必要であり。

(6) 都市景観・都市環境形成

本地域が有する丘陵地、河川、田園等の自然景観の保全、活用が求められている。

また、能越自動車道高岡北 I C 周辺、I C アクセス道路の沿道景観の形成誘導が必要である。

(7) 都市防災

河川改修による浸水対策のほか、丘陵部の急傾斜地や地滑りの危険のある地域については土砂災害防止対策が必要である。

3 地域づくりの目標

(1) 地域づくりのテーマ

西部地域では、能越自動車道を活かした適正な土地利用を図り、西山丘陵地等の豊かな自然環境と調和したうるおいのある地域づくりを推進するものとし、地域づくりのテーマを以下のように定める。

「能越自動車道を活かし、
自然環境と調和したまちづくり」

(2) 地域づくりの目標

◇ 能越自動車道高岡北 I C 周辺の交通機能を活かした地域づくり

- ・能越自動車高岡北 I C 周辺において、高速交通の優位性を活かした生産流通の拠点を形成する。

◇ 市街地との連携強化を図り、便利で安心して暮らせる地域づくり

- ・公共交通機関の整備充実や、道路の整備推進等により市街地との連携を強化し、便利で安心して生活できる地域づくりを推進する。

◇ 周辺環境と調和した快適な地域づくり

- ・西山丘陵地、小矢部川など豊かな自然環境を保全するとともに、周辺の環境と調和のとれた土地利用により快適な地域づくりを推進する。



4 地域の整備方針

(1) 土地利用の方針

○住宅地

- ・地域の活性化を図るため、田園環境と調和した田園居住や多自然型居住地域の形成を目指す。

○商業・業務地

- ・国道160号等の幹線道路沿線は、利便性の高い商業・業務地として、周辺環境と調和した沿道空間の形成を図る。

○工業地

- ・岩坪工業団地や四日市工業団地等は、周辺の住環境に配慮しつつ、交通の利便性を活かし、産業活動の効率化や円滑化等を図る。
- ・能越自動車高岡北 I C 周辺は、能登方面や伏木外港との結節点として、都市の活力を発展させる新たなエリアとして位置付け生産・流通業務等の導入を図る。

○農業用地

- ・農地と集落が共存する地区は、優良農地として農業環境の保全を図りつつ、周辺地域と調和のとれた計画的な土地利用を図る。

(2) 都市施設整備の方針

○道路・交通

- ・中心市街地や能越自動車道高岡北 I C 等へのアクセス強化を図るため、幹線道路の整備を推進する。((主) 小矢部伏木港線や (主) 高岡氷見線など)

○公園緑地

- ・豊かに広がる西山丘陵一帯の緑は、生活にうるおいを与え、健全な生活を営む上で必要不可欠な緑地であることから、今後も保全活用を図る。
- ・身近な公園緑地等の整備を推進し、生活環境の改善や災害に対する安全性を確保する。
- ・小矢部川の河川緑地、社寺林等のネットワーク化、道路や公共施設等の緑化の推進により、緑豊かなまちづくりを推進する。

○河川

- ・ 浸水被害防止のため、谷内川等の改修整備を促進するとともに、守山地区の雨水の適切な排除を図る。

(3) 都市景観・都市環境形成の方針

- ・ 西山丘陵地は、本市の外郭を構成する緑地であり、丘陵の緑の保全と豊かな緑を活かした景観形成を図る。
- ・ 丘陵地の森林は、適正な保全管理を行い、自然環境の保全面においても森林機能の保持に努める。
- ・ 小矢部川や地域内を流れる河川などの環境美化に努め、豊かな自然と調和した水辺環境づくりを推進する。

(4) 都市防災の方針

- ・ 西部地域における浸水被害防止のため、守山地区の雨水の適切な排除を図る。
- ・ 西山丘陵地帯は、急傾斜地崩壊対策により地滑りや土砂災害等を未然に防止し、安全な居住環境の確保に努める。

